

くやはら通信

Vol.9

2016.春 発行

特別養護老人ホーム

くやはら

KUYAHARA News Paper

目次

| | | | |
|--------------------|-----|-----------------------|---|
| 理事長あいさつ…………… | 1 | 看取りケアについて…………… | 7 |
| 新年度のあいさつ…………… | 2・3 | 高齢者ソフト食とは?…………… | 7 |
| 生きがいづくりやっています…………… | 4・5 | 連載 楽になる認知症ケアのコツ①…………… | 8 |
| 職員紹介…………… | 6 | カフェ居酒屋…………… | 8 |



桜の花びらとともに

社会福祉法人 久仁会
特別養護老人ホーム

くやはら

理事長 田中

ゆきこ
志子

桜の花びらが舞う4月。皆さんはどのような春を迎えているのでしょうか。新しい学校や職場に入り、新たな出会いに喜びや不安を感じているのでしょうか。それとも、今までの仲間に別れを告げてちょっと悲しい気持ちでしょうか。喜び、悲しみ、いろいろな春があると思います。そんな気持ちをすべて受け止めて、みんなが笑顔になれる地域をつくっていきたくと思っています。

1年前の4月、私たちはこれまでの理念を一步前進させました。「地域といっしょに。あなたのために。」という新しい理念の下、高齢になっても障害を抱えていても住み慣れた地域ですっと暮らしていけるように、職員一丸となって取り組んでいます。

こうした仕組みについて、国は「地域包括ケアシステム」と呼んで、全国的な広がりを目指しています。私たちは、この地域包括ケアシステムの中で、1人ひとりの居場所がもっと保たれるような取り組みを強めていきたくと思っています。年老いても、障害を抱えていても、1人ひとりが活躍できる場所がここにある。そんな環境をつくっていきたくと思っています。

みんなで支え合いながら、より暮らしやすい環境

にしていきたい。そのために、皆さんにもぜひ力を貸してほしい。1人でも多くの方がボランティアとして参加してほしいと願っています。ほんのちよっただけ、お年寄りの話し相手になってくれると本当にありがたく思います。特別な資格やスキルは全く必要ありません。たわいのない会話かもしれませんが、もしかしたら新しい発見があるかもしれません。

4月。定年退職を迎えて第二の人生をスタートする人もいます。ぜひ、家の中にこもらないで、私たちと一緒に地域づくりに参加してみませんか? ボランティアさんの応募をぜひお待ちしております。

この春、私の長女は大学生として新しい出発をします。親としてとても嬉しい気持ちでいっぱいですが、遠くに離れてしまう悲しみもいっぱいです。新しい環境できちんとやっていけるのだろうかと不安な気持ちも入り混じります。

でも数年後の4月、この桜の花びらとともに、再びこの地に戻ってきてほしい。そして、私たちと一緒に地域づくりやまちづくりをしてほしいと願っています。

新年度の あいさつ



特養くやはら
生活支援部 **松井 道代**

特養くやはら生活支援部は、その方のくやはらでの生活を支えることを大切に思っています。その方の思いや望むもの、環境をケアとして生かせるように施設長、相談員、ケアマネ、看護師、栄養士・調理師、介護士等他職種との連携をとりながら、日々変わる利用者様の状況をサポートしていきます。

ご家族様の面会時に心配事や、聞きたいこと等がありましたら、お気軽に職員に声をかけてください。



特養くやはら
生活支援部看護 **大嶋 玲子**

看護は今年、新しい仲間を迎え安定した看護の提供を心掛け安心していただけるように頑張っています。普段、縁の下の力持ちと思いき活動している看護の取り組みをお話しさせていただきます。

第一に健康管理と疾患予防に力を入れ、利用者様の現状を維持してくやはらで楽しく過ごしていただけるように心掛けています。パズルやお手玉、輪投げ、ペグボードなどゲーム性や知的活動を考慮し日常生活で個々にあった機能訓練を実施しています。ベット上でやむなく過ごすことが多い方にも音楽を聴きながらリラックスしてマッサージや関節動かす運動、ベットから足を下ろして腰かける、そして車椅子で離床する。このような訓練が筋や関節拘縮予防、唾液の分泌を促したり、肺の動きをよくして呼吸活動を高めるように目的意識をそれぞれがしっかり持って取り組んでいます。

さらに口腔ケアは肺炎予防に重要なものと考えて個人に必要な方法で行っています。看護職、栄養ケア部、相談部など他職種みなさんと協力しながら関わりを大切にしていきたいと思っております。



特養くやはら
生活相談部 **横坂 絹代**

こんにちは生活相談部です。入退所の手続き、他事業所・地域との連携・調整・利用者様・ご家族様の相談援助、請求、苦情受付窓口など施設の調整役と言われる部署です。

主に相談員がショート利用者様、ケアマネがロング入居者様を担当し、くやはらを我が家と思い安心して暮らせるようチームで協働して支援させていただいています。セラピー犬チョコもお待ちしております。何でもお気軽に声をかけて下さい。



特養くやはら
栄養ケア部 **田代 準一**

食べることはくやはらに入居される方に限らず人間が生きていく上で欠かすことのできないものでありかつ生活の大きな楽しみであるという方は多いのではないのでしょうか。

栄養ケア部では、嚙んだり飲み込んだりする力が弱まった高齢の方にも食事を楽しんでいただけるよう開設より黒田留美子氏提唱の「高齢者ソフト食」に取り組んでまいりました。

まだまだ発展途上ではありますが今後もより安全でおいしい食事、また食事の時間が利用者様の大きな楽しみとなるよう努力してまいります。今年度もどうぞよろしく願いいたします。



特養くやはら
事務部 **市場 康行**

施設は地域において重要な役割を担っており、『継続』して質の良いサービスを提供していく必要があります。事務部は人財・物・資金・設備という資源で法人運営に深く関わり、事業目標の達成に貢献をする役割を担っています。そして各部門との情報共有と連携を行い、利用者様が安全に安心してケアが受けられるように事務的支援を行っております。業務的には利用者様と直接関わることは少ないですが、利用者様や働くスタッフが気持ちよく過ごせる施設づくりをしていきたいと思っております。



いきいきデイサービス
萩原眞佐子

いきいきデイサービスでは、来所されると『おはようございます』というあいさつから始まります。ホワイトボードに利用者様ご自身がしたいこと（裁縫、ぬりえ、昼食準備、後片付け、機能訓練、将棋、入浴時間など）をご自分で予定表に貼っています。

利用者様が楽しみややりがいを見つけられたり、利用者様同士の助け合いも見られます。

利用者様が『まだ帰りたくない』と言われるくらい楽しく、マイペースで過ごせる場所です。是非皆様もお立ち寄り下さい。



子育て支援事業
石田美恵子

放課後等デイサービス『手をつなごう』（障がい児）は今年3年目に入りました。障がいのある児童が放課後や学校休業日に安全に過ごせる場所として、特養の中で入居者様とイベントやふれあいななどの交流を図りながら、楽しく活動をしています。

学童クラブ『手をつなごう』（健常児）は放課後の児童たちが過ごす場として、遊んだり、行事への参加や製作等の活動をしています。特徴として、ヨコミネ式学習を取り入れています。現在利南東小と白沢小地区を中心に児童募集中です。よろしくお願いたします。



平成
27年度

生きがいがづくりやっています

2015

9月

月見団子作り、敬老会



いきいき祭り、学童ハロウィン

2015

10月



2015

11月

うどん作り、瀬間さんショー、
体操教室





クリスマス、ゆず湯体験、
輪投げ大会

2015
12月



2016
1月

元旦、獅子舞、
書き初め大会



音楽療法、
節分

2016
2月



職 員 紹 介

気になる人を紹介
取扱い説明書!?



今泉裕二の気になる人

【職員名】

松 島 弘 子

動作方法

- 話 す：基本誰とでも話します
- 誘 う：気の合う人なら
- 笑わせる：おもしろければ笑います
- 泣かせる：動物や子供ネタには弱いです
- 怒らせる：わりとすぐ怒ります
- 相談する：相談にはのります。自分からは気を許した人でないと相談しません
- 味方にする：信頼できる人なら



湯浅高宗の気になる人

【職員名】

富 樫 重 喜

動作方法

- 話 す：誰とでも大丈夫。話しかけて下さい
- 誘 う：飲酒ならばどこにでも！
- 笑わせる：すぐ笑います
- 泣かせる：20代に『映画ドラえもん』を見て以来泣いていません
- 怒らせる：怒りません
- 相談する：なんでも聴きます。どうぞ！
- 味方にする：価値観や考え方が似ていればもしや…



狩野つや子の気になる人

【職員名】

真 庭 く に 子

動作方法

- 話 す：話しかけられれば話せる範囲で話す
- 誘 う：気が合えば時と場合によっては誘う
- 笑わせる：楽しかったりおかしなことがあればいつでも笑う
- 泣かせる：感動的なことや嬉しいことがあれば
- 怒らせる：常識はずれなことがあれば
- 相談する：仲のよい友達
- 味方にする：信頼関係ができていれば



関 美幸の気になる人

【職員名】

細 矢 良 樹

動作方法

- 話 す：人見知りしません
- 誘 う：なるべく断りたくない
- 笑わせる：おもしろいこと好き
- 泣かせる：動物系の感動映画とか
- 怒らせる：礼儀知らず
- 相談する：聞き、聞いてもらう
- 味方にする：正義の味方



斉藤由香の気になる人

【職員名】

芦 田 未 来

動作方法

- 話 す：話しかけてくれれば笑顔で答えます
- 誘 う：その時の気分によります
- 笑わせる：くだらないことでもすぐ笑います
- 泣かせる：映画やドラマをみてよく泣きます
- 怒らせる：あまり怒りません
- 相談する：自分が相談してばかりです
- 味方にする：信頼できる人



田代準一の気になる人

【職員名】

高 井 則 幸

動作方法

- 話 す：話しならなんでも
- 誘 う：酒場放浪記的な誘いなら
- 笑わせる：上島竜兵
- 泣かせる：フランダースの犬のラスト、ドラゴンボールのチャオズが死んでしまうところ
- 怒らせる：黒を白と言えないタイプなので
- 相談する：みのもんたばりとは言えませんが
- 味方にする：同じ考えの人 女性と子供にも

看取りケアについて

看取り介護とは、老化や慢性疾患等により心身が衰弱し、医療機関での対応の必要性が薄く、回復の見込みがないと診断された方で、本人または家族が施設を最期の場所として過ごすことを希望された場合に、本人の身体的・精神的負担を軽くして住み慣れた場所で最期の時を安らかに過ごせるようにする介護のことです。

具体的な流れとしては、まず医師より本人または家族などに病状説明があり、施設を最期の場所として希望された場合は看取り介護の同意を頂いております。同意いただいた後の意思の変更はいつでもできます。その後、本人や家族、介護職員、看護職員、管理栄養士、介護支援専門員等で看取りカンファレンスを行い、本人や家族がどのようにしてほしいか希望を確認しながら、看取り介護計画書を作成していきます。カンファレンスでは、施設でできることを各職種から提案、できる限りご希望に沿うように全職員で支援していきます。



高齢者ソフト食とは？

黒田留美子氏提唱の介護食です。いくつになっても生きる源である食べる喜びを大切にしたい—そんな黒田先生の思いが形になった食事です。

大きな特徴①

しっかりと形がありながらも口に
取り込みやすい
→バラバラしていない
→食べ物として認識できる



大きな特徴②

やわらかくて食べやすい
→そもそも柔らかい食材を使用
している
→切り方を工夫している



→種を取っている



→皮をむいている



→調味料を入れる前に食材を
柔らかくしている

大きな特徴③

飲みこみやすい
→水分にはとろみがついている
ex. あんかけ



→油脂を上手に利用している
ex. 肉団子に卵・サラダ

おかゆさんとペースト状のおかずだけの提供ではありません。まだまだ発展途上ではありますが美味しいお食事の提供のため努力しています。





連載

楽になる認知症ケアのコツ①

楽になる認知症ケアのコツ

(山口 晴保、田中 志子編 大誠会認知症サポートチーム著技術評論社出版) から

年相応の老化の「もの忘れ」と「認知症」との違い、判断基準については気になるところですね。

買ったことは忘れるが金銭管理はできている…これは老化です。ひとり暮らしに手助けが必要な状態や職業上の複雑な仕事ができなくなる…ここが判断基準・境界線となるようです。おや?と思ったら専門医へご相談ください。



☕ カフェ居酒屋

居酒屋の看板が出ています。利用者様が施設内散歩に見えた際にカウンターにてノンアルコールビールやコーヒー、お菓子などを提供しちょっとした憩いの場になっております。地域の皆様も近くにいらした際にはお気軽にお立ち寄りください。また介護全般の相談も承っております。



社会福祉法人 久仁会 特別養護老人ホームくやはら

TEL : 0278-25-9292 FAX : 0278-25-9293

住所 : 〒378-0005 沼田市久屋原町 414-1

HP アドレス : <http://www.kyujinkai.com/>